

平成29年度 釜利谷高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
体罰・セクハラを根絶し、人権を尊重した教育環境整備	県民の信頼に応えるべく、セクハラ・パワハラ・わいせつ行為・体罰・不適切指導を起こさない。	8月 人権に関する研修 実施 9・11月 事故不祥事防止会議 実施 ○生徒の指導にあたっては常に人権に配慮した言動に努め、個々の事案に即した丁寧な指導を行った。 ○特別指導や教育相談の際は常に複数の職員で対応し、精神的な余裕を持って指導にあたった。 ○人権に関する校内研修を実施し理解を深め、お互いに認め合う心を醸成し、人権意識を向上させた。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策、成績処理等における事故防止	個人情報を適切に取り扱い、紛失・流出を防止する。	1月 携帯電話に関する情報についての調査 実施 7・12月 事故不祥事防止会議 実施 ○成績処理、調査書や推薦書の作成等、複数の点検体制を徹底した。 ○個人情報の入ったものは鍵のかかる所に収納した。 ○個人情報等を含む電子データには必ずパスワードを設定した。 ○私物USBメモリの持ち込み禁止を徹底、個人情報の持ち出しを避け、取り扱いのルールを遵守した。 ○共有フォルダ、暗号化サーバの活用を徹底した。 ○私費徴収事務や減免事務において個人情報の取り扱いに注意した。
経理処理（公費、私費、現金管理）	不適正経理処理対策を徹底し、公正な予算編成と適正な予算執行を行う	4月 私費会計担当者対象校内研修 実施 4月 事故不祥事防止会議 実施 ○適切な公費執行手続きと共に私費会計処理の手引きに従った処理をした。 ○現金での徴収や立替による執行をできるだけ避けた。 ○徴収金は、担当者だけでなく複数の職員で定期的に執行状況を点検した。 ○現金は必ず金庫で管理し、週1回は銀行へ行った。 ○私費会計基準、処理手順等、担当者を対象とした職場研修を実施した。 ○業務は、グループ会議等で確認しながら進めた。 ○業務は一人で抱え込まない、一人で決めない。OJTを推進しベテラン・若手職員の協働体制で取り組んだ。 ○次年度への引き継ぎを円滑にするよう啓発を図った。
業務執行体制	円滑な業務執行にむけて、情報の共有化を図る。	2月 事故不祥事防止会議 実施 ○共有フォルダによる業務文書管理体制を確立した。 ○起案文書管理を徹底し、起案文書の点検は複数で行い、決裁文の保存はまとめて保管した。 ○重要書類の保存期間の周知と書類の廃棄の徹底を図った。 ○年度をまたがる指導や企画の引き継ぎを徹底した。
交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、公務外非行防止、政治的中立性の厳守	公務員（教員）として自覚を持ち、法令遵守の立場で県民の信頼に応えるべく行動できる体制づくりを広く図る。	2月 事故不祥事防止会議 実施 ○定期的な声掛けにより交通事故・非違行為防止を啓発した。 ○全国で起きている事故、不祥事を教訓に、注意して行動した。 ○職員同士が互いに注意喚起や相談しやすい風通しの良い職場環境づくりを図った。 ○選挙等の実施の際に教育者の地位を利用した選挙活動を行わないよう啓発した。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

平成29年度は概ね達成できた。特に、今年度は「携帯電話に関する情報についての調査」の実施に伴い、携帯電話等に関する個人情報の取り扱いについて、改めて、全職員での周知が徹底できた。今後も、変化していく情報・通信環境に全職員が適切に対応できるよう情報の共有を確実に推進することが課題といえる。また、生徒指導の場面で、不本意なセクハラ・わいせつ・パワハラ等行為に繋がることなく、組織的な対応を確実に定着させることが課題である。